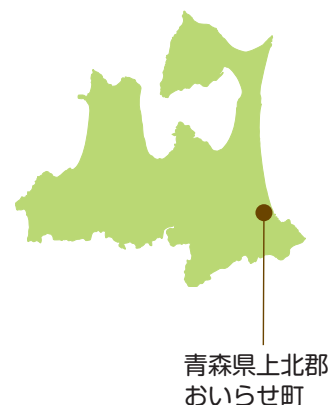


有限会社柏崎青果

※2016年3月現在

代表者名	柏崎 進一	資本金	60 百万円
設立年	1991 年 3 月 1 日	売上高	1,530 百万円 (2015 年 2 月期)
事業内容	生産（ニンニク）、 加工・製造（ゴボウ茶）	経営規模	田 0.3ha、畑 10.5ha、 施設 1,181㎡、加工場 1,505㎡
従事者数	90 人（うち女性 73 人。女性内訳：役員 1 人、一般職 57 人、常勤パート 15 人）		
女性活躍支援	<p>[女性に配慮して取組んでいる制度]</p> 休暇（産前産後・育児）、育児休業後の継続就業支援 <p>[女性に配慮して取組んだ環境整備]</p> 施設設備関係（休憩室・屋内・野外トイレの設置）、重労働等の業務改善、 技術・知識の習得支援		



経営概況

青森県上北群おいらせ町を拠点とする（有）柏崎青果は、「ジャパニーズ・アオモリ」を世界に売り込み、メディアでも大きく取り上げられるなど脚光を浴びる法人である。1968年に柏崎進一氏により創業、1991年に法人設立された。

生産、加工・製造に加えて作業受託にも取り組み、県内の自社農場はもとより協力農家との連携も行い、青森県の特産物である長芋、ニンニク、ゴボウを中心とした生産拡大を図ってきた。

現在、長芋は取扱規模が年間3,500aまでに

拡大し、さらに世界22カ国への輸出取引の増大により、黒ニンニク、ゴボウ茶の売上も増加している。2015年2月期には年間売上高が15億円に達し、現在は田0.3ha、畑10.5ha、施設1,181㎡、加工場1,505㎡を経営している。

なかでも黒ニンニクは、2006年に開発成功してからたった8年で“4億円／年”が見通せる基幹事業の一つに成長した。これにより企業全体の年商も9億円から15億円へと躍進し、この成果により「平成26年度6次産業化優良事列表彰（食料産業局長賞）」を受けている。同じく平成26年度には、売上高が前年度比約20%という、驚異的な向上を果たした。

従事者数は、2011年度の54名から現在約1.6倍に増員して90名。うち女性は73名、女性の外国人研修生も11名受け入れ、女性活躍の場として重要な役割を担っている。

1. 女性目線での商品開発を核としたイノベーション

柏崎青果では、市場価格に左右されない経営体



制をつくるため、かねてより様々な経営戦略を考えていた。それは、1) 地域内での付加価値化、2) 6次産業化による加工の高度化、3) 健康食品としての高付加価値化、4) 開発商材による国内販路の充実と海外進出である。

海外進出をにらんだイノベーションを進めるうえで、消費者目線を持つ女性の視点が必須と考え、生産、開発、加工、販売、輸出といった各部門で、女性従業員の積極的な登用を行った。“商品開発”では子育てや介護などの経験をふまえた生活視点を、“クレーム対応”では配慮や思い遣りのある商品説明を、“海外輸出の促進”では語学能力を……という具合に、特性を活かせるように取りはかった。適材適所の配置を進めた結果、中核となる女性たちが育ち、その活躍がめざましい。

2. 女性が活躍できる

キャリアプラン・作業体系の設計

各部門はそれぞれ独立して業務を行っているが、完全にその部署に専業するのではなく、女性従業員は全て、手が空けば生産や加工の現場に入る作業体制を整えた。これは「現場を知らなければ、現実的な開発や販売に結びつきにくい」との方針からである。

ただし女性が取り組みやすいように改良も随時、行った。生産や加工部門では、力のない女性でも従事できるよう機械化を進めたことで、男性従業員よりもオペレーションに秀でる女性従業員もいるという。これにより柏崎青果が得意とする加工分野の実際や、素材の特徴を肌で感じることができ、商品開発の幅がより豊かなものになった。加工の範囲が一気に広がり、開発アイテムは70種を超えるまでになっている。

自らが関わった商品が売上に結びつくことで、経営参画や自己実現の手応えが感じられるようになっていく。

3. 子育て・出産に係わる制度

「2」で記したような、作業体系や機械の整備だけでなく、福利厚生に関わる制度も整えている。女性従業員の定着率の向上と、働きやすい環境を整備するため、産休後の復帰が速やかにできる仕組みづくり、事務所・トイレ・休憩室等のリニューアルを行ってきた。

4. 女性の活躍により世界へ

黒ニンニクやゴボウ茶は世界トップレベルのレストランで調理素材として採用され、素材の良さ・特殊な焙煎技術は世界で認められている。ミラノ万博でも紹介されたことが、世界から脚光を浴びるきっかけとなった。また黒ゴボウを活用した新メニューを地元の高校と共同開発し、次世代の女性に対しても、将来の活躍の素地をつくる努力も怠らない。

このように、事業計画書の策定から運営管理までを任せられる女性従業員の成長が、経営上の成果にも如実に結びついている。

審査委員の声

特徴ある主力商品（黒ニンニク、ゴボウ茶等）の生産拡大を経て、6次産業化による加工の高度化、健康食品としての高付加価値化による国内販路の充実と海外進出を進めている。

経営方針の実現には、イノベーションが必要であるという経営方針の元、女性社員にイノベーター役を期待。そのため、トイレや休憩室など女性設備整備を進め「働きやすさ」への期待に応えた上で、様々な職域にチャレンジできる機会・体制を整えている。

会社の本気と、社員一人ひとりのやる気が、相乗効果を発揮して行くことを期待したい。